

平成31年度 協働提案募集説明会

「協働提案制度」は、区と地域活動団体がお互いの立場を尊重し、役割を分担しながら地域の課題解決に取り組む制度です。より暮らしやすいまちにするために、制度を積極的に活用していませんか。

- ◆日時:平成31年1月21日(月)15:00~17:00
- ◆場所:杉並区役所中棟6階 第4会議室(阿佐谷南1-15-1)
- ◆対象:地域活動団体など
- ◆問い合わせ:杉並区民生生活部地域課協働推進係
電話:03-3312-2381

すぎなみ地域大学では、1~3月開講講座の新規受講生を12月1日より募集します!

- ◆都市における農業のこれからを考える3日間(計3回)
- ◆まちとつながる!まちづくり実践スタート講座(計4回)
- ◆地域防災コーディネーター養成講座(計8回)

などの新規講座が目白押し。

★詳しい講座内容は、すぎなみ地域大学のホームページをご覧ください。<http://www.sugi-chiiki.com/tiikidaigaku/>

すぎなみ地域大学 検索!

CAMP

キャンプのように、できる人ができることをしよう。

Vol.15
2018年11月発行

~NPO等年末大交流会2018~

★ 昨年「ガイドブック発刊記念交流会」の際、寄せられたたくさんのご要望
★ にお応えして今年も **交流会** を開催いたします。
★ 地域コム団体、プラザ登録団体、行政職員など広くお集まりいただき、
★ 「知る」「知ってもらう」「つながる」会にしたいと考えています。
★ お誘い合わせのうえ、奮ってご参加ください。



昨年度の様子

- ◆日時:12月5日(水)17:00~20:00(開場16:30)
- ◆場所:杉並区立産業商工会館(阿佐谷南3-2-19)
- ◆会費:500円(杉並区NPO支援基金へ寄附させていただきます)
- ◆申込:参加団体名、参加人数を明記のうえ、メールでお申込ください。
- ◆宛先:sanka@nposupport.jp
- ◆※件名に「12/5交流会参加」とお書きください。

New! プラザ新規登録団体紹介

■ 和泉第一町会 ■

杉並区の南西端に位置し、賑やかな商店街から一步入ると閑静な住宅街が広がる地域です。高齢化に伴い独居の方も増え、昔の隣組のような身近な地域で助け合う、支え合いの輪を広げたいです。そして、新たに転入されてきた若い方にも、その輪に入ってもらうとうと、ホームページを立ち上げました。

新成人祝賀、新年会、初詣、入学・進級祝い、夏祭り、長寿祝いなどの年間行事のほか、震災救援所の運営、防災フェアの開催などの防災活動、児童登校時の見守り、夜間パトロールなど防犯活動を通し、心の通う住みよいまちづくりを目指してまいります。

- 主な活動内容
- ◆ 6月:震災救援所フェスタ参加
 - ◆ 8月:ふるさと和泉みんなの夏祭り参加
 - ◆ 11月:町内防災フェア開催
 - ◆ 連絡先:lzumiDaiichiChokai@gmail.com



リレーコラム 茶もっこ

「茶もっこ」とは? 新潟県・松代地方の言葉で、通りすがりの人でも軒先に招き、もてなすお茶の意味。

毎日が勉強!

すぎなみ協働プラザで働き始めて約1年半たちます。かつての職場(銀行関連)と仕事の内容は違いますが、同僚、相談者とのふれあいの機会が多いのは同じです。私にとって新しい世界でもあり、毎日が勉強です。

子供3人のうち長男、長女は米国在住です。今年の七夕には長女家族が来日し、成長した孫たちとも2年ぶりの再会を楽しみました。長男家族も来年7月に会える予定で、2年連続で七夕祭りができそうです。私は織姫、子供達は彦星、天の川は私の別れの涙...でしょうか。

「孫たちと英語で会話できたら」と、時々海外ドラマ・映画を英語字幕付きで見て、勉強しています。(小林)



- 開館日:月/水~土曜日 午前10時~午後6時
- 休館日:日・火曜日、第3水曜日、年末年始(12/28~1/4)
- アクセス
- JR中央線・総武線「阿佐ヶ谷駅」より徒歩2分
- 東京メトロ丸ノ内線「南阿佐ヶ谷駅」より徒歩7分
- ※自転車でお越しの方は中庭駐輪場をご利用ください。
- ※駐車場はありません。



すぎなみ協働プラザ

<http://www.sugi-chiiki.com/nposupport>

〒166-0004 阿佐谷南1-47-17 阿佐谷地域区民センター4階
TEL:03-3314-7260 FAX:03-3314-7265
E-mail:info@nposupport.jp

「すぎなみ協働プラザ」は、杉並区からの事業委託により「NPO法人CBすぎなみプラス」が運営しています。



特集:災害で見えてくる地域課題~自分と違う価値観に気づく

掲載団体

- ・地域防災コーディネーター育成機構
- ・希望連(母体団体:障害者の住みよい杉並をつくる会)
- ・すぎなみ食物アレルギーの会
- ・カラフル@はーと
- ・にほんご学習すぎなみの会

特集：災害で見えてくる地域課題～自分と違う価値観に気づく

2018年は数年に一度という大災害が多発しました。私たちは改めて自然災害の恐ろしさに直面し、災害への備えの必要性を痛感しました。災害に遭遇すると、普段見逃しがちな社会的弱者の存在や地域課題が浮き彫りにされます。

すぎなみ協働プラザは9月、「災害と『社会的弱者』」をテーマにした交流会を開催しました。参加者からは「さまざまな立場の人が防災や要配慮者支援について考えている。それがより良い地域づくりにつながると思う」などのコメントが寄せられました。

本号では5つの団体に災害に備えた取り組みなどを聞きました。設問は以下のとおりです。

- A:** どのような仲間と共に、何を目的に団体を立ち上げましたか？
B: 災害に備えて取り組んでいること、
 今後取り組みたいこと（活動計画）を教えてください。
C: 杉並をどのような地域にしたいと思いますか。



地域防災コーディネーター育成機構

つながる防災・つなげる減災

A: 多くの防災訓練は障害者、高齢者、子育て世代など「災害弱者」の参加に配慮されていません。社会教育センターで共に学んだ仲間呼びかけ、「一人も見逃さない街を目指した減災教育」を広めることを目的に立ち上げました。

B: 防災の基本は「地域で顔の見える関係をつくること」です。その考え方にに基づき、「災害を学び、災害に備える減災教育」を「楽しく学ぶ」企画の普及に取り組んでいます。その活動により、ある地域ではそれまで20人の町会役員しか参加しなかった防災訓練が、なんと600人超が参加する地域の名物イベントに様変わりしました。

C: 地域防災活動の面では区内の地域格差は明らかにあります。私たちは、すぎなみ地域大学の「地域防災コーディネーター養成講座」を通じて人材を輩出し、地域の防災活動に誰でもがいつでも参加でき、互助の関係が生まれる杉並区を目指します。



information

◆連絡先:yukinet1018@yahoo.co.jp (瀧澤 征宏)

すぎなみ食物アレルギーの会

いつか食べれるようになるその日まで

A: 杉並第二小学校に通う食物アレルギー児をもつ親や、助産師、学校教員と共に、食物アレルギー児が豊かに生活できる環境をつくるために立ち上げた団体です。食物アレルギー児が安全で快適に日常生活、学校生活を送れるように、講演会や勉強会を通じて広く皆さんに理解してもらおう活動をしています。

B: 杉並区では現在、被災時の非常食として、クラッカーや乾パンの代わりに、食物アレルギー児でも食べられるライスクッキーを、平成29年度から4年計画で倉庫ごとに320袋の備蓄を進めているそうです。私たちはこのライスクッキーのほかに、食物アレルギー児が食べられる非常食にはどんなものがあるかなど、食物アレルギー児が備えるべき災害対策と一緒に考えていくイベントを開催していきます。

C: 食物アレルギーだけでなく、皆が多様性を受け入れ「みんなちがってみんないい」…それを「個性」として受け入れられる地域になるように、理解の輪を拡げていきたいと考えています。



information

◆連絡先:info@shokquare.com (佐藤 香理)

にほんご学習すぎなみの会

対話の中で在住外国人と杉並を結ぶ!

A: 日本語教授法講座の修了者で「外国人のための日本語教室」を運営しています。体系的に教えるだけでなく、病院や役所、学校便り、ゴミ分別など、いろいろな生活の場面で必要になる日本語を重視しています。

B: この数年、年に1～2回、消防署や消防団の方にご協力いただき、学習会を設けています。「救急車の呼び方」「AED・消火器の使い方」「起震車体験」「自分の避難所を知る」「防災マップの読み取り」「災害用持ち出し袋と備え」「深川防災館訪問」などを実施しました。また、ご説明して下さる方の日本語をどこまで理解できているかも重要で、各自の気づきと自己啓発につなげていきたいと考えています。

C: 多文化共生に向け、情報弱者（高齢・障害・病氣・外国の方たち）にもわかりやすく伝わる「やさしい日本語」を使うコミュニティ社会が、杉並で実現することを願っています。



information

◆連絡先:suginaminihongo@gmail.com (天坊 千明)

希望連(母体団体:障害者の住みよい杉並をつくる会)

～障害当事者の自立生活実現をめざす～

A: 障害があっても住みよい杉並のまちになっていく事を願い、1981年の国際障害者年に、区内の障害者団体、ボランティア団体、働く方々で発足した「障害者の住みよい杉並をつくる会」が、市民と楽しみながら交流したく高円寺阿波踊りに参加する為に作ったのが「希望連」です。1981年から参加し続けており、毎回沢山の応援を頂き感謝しています。

B: 作業所で、避難訓練を毎年実施しています。消防署に来て頂き訓練をしている施設もあります。また、グループホームの世話人が毎年、消防署で講習を受けています。障害者通所施設や入所施設が、第二次避難施設の指定を受け、物品のストックをしています。

C: 障害の有無による隔たりのない環境で、一緒に行える避難訓練や災害時救援所立ち上げ訓練を行える地域にしたいと思います。在宅の障害者にとって、災害時の避難では近隣の方からの応援が必要です。近隣の方との関係づくりが課題ですが、『障害者の住みよい』地域にしたいと思います。



information

◆連絡先:090-6160-0344
 (杉並障害者自立生活支援センターすだち「希望連事務局」佐藤 弘美)

カラフル@はーと

LGBTと精神疾患・発達障害ほかの自助グループ

A: LGBT(性的マイノリティ)と精神疾患や発達障害を抱えている当事者同士で、LGBTのこともメンタルヘルスのことも隠さずに話ができ、生活のことや疾患・障害の話題などを共有したり、自分らしく過ごせる居場所づくりをしたりしています。

B: 災害時の備えはこれからの課題で、LGBTの方々が抱える固有の問題に対応することも重要ですが、LGBTであるがゆえの不安や心配事を周囲の人に打ち明けられないなどの問題があります。自助グループとしても災害時にこそ当事者が心の繋がりを持てるように、お互いにお手伝いできる関係作りができればと思います。

C: 地域の中には、様々なマイノリティの方がいます。LGBT、疾患や障害、外国人、生活困窮者などの方でも、誰もが排除されたり孤立しないで、弱さを持っていても人との繋がりを持てるような地域であってほしいと思います。



information

◆連絡先:http://lgbtcath.com (浅沼 智也・斎藤 恵文)